

みなさまこんにちは！おかげさまでニュースレターの発行も今回で10回を迎えました。今までは、コロナや人生会議、災害、BCPについて発信してきましたが、今回は当センターが事務局になっている小児在宅診療医照会制度について、また、高齢者が住み慣れた地域で安心して生活できるように支援している地域包括支援センターについて紹介させていただきます。

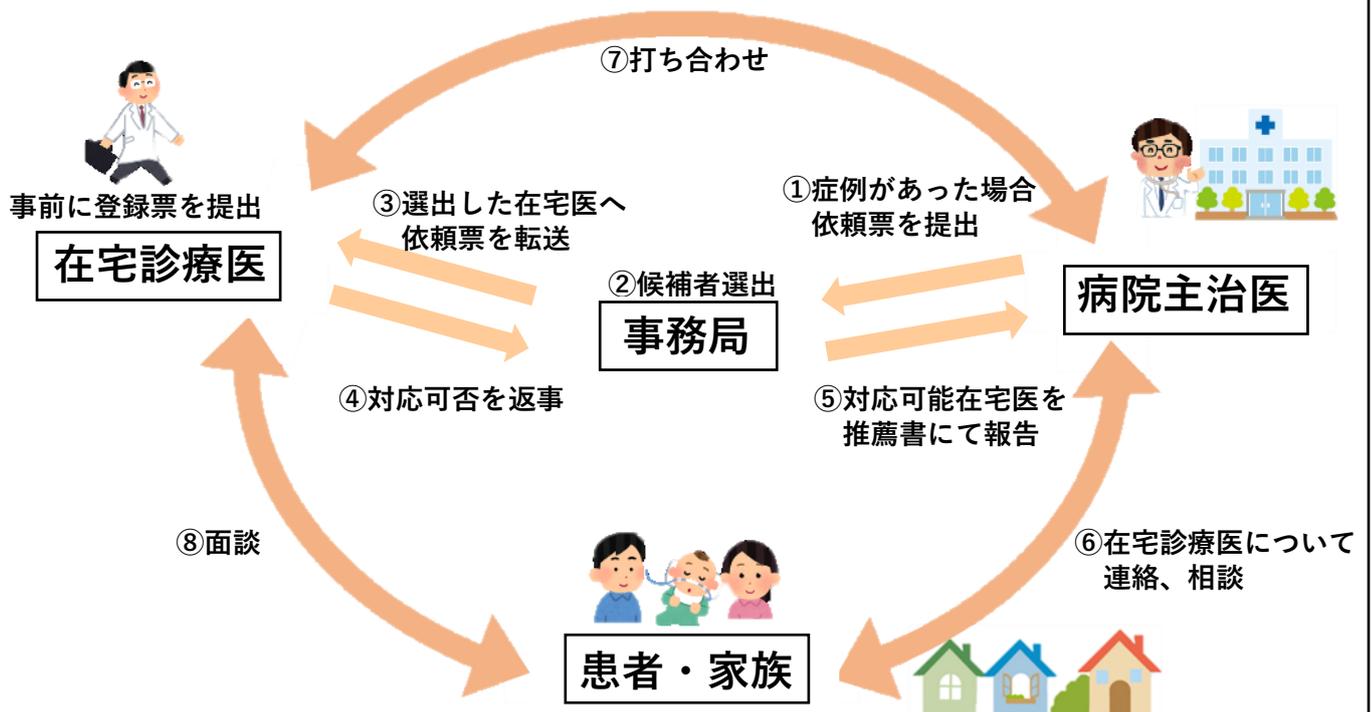


## 小児在宅診療医照会制度をはじめました

昨年、医療的ケア児支援法が成立しました。「医療的ケア児」について皆さまもよくお聞きになるのではないのでしょうか。医療の進歩により、以前は助からなかった子どもの命が救われるようになっていきます。それに伴い、病院を退院した後も、呼吸器や経管栄養、在宅酸素等の医療的ケアを受けながら自宅で過ごす子どもも多くなっています。定期的に通院が必要なため、ご家族はたくさんの荷物や医療機器等を携えて通院を頑張っています。さらに、ちょっとした体調不良時や、ミルクや水分・食事量などを相談したいけれど次回受診までは期間が空いているとき、きょうだいやお母さんの体調が悪いときにも病院へ行く…など、行けないことはないとしても、とても労力がいらいます。

そこで、奈良市医師会では、ご家族の負担を軽減するため、安心して自宅で過ごせるよう、在宅で診てほしいというご家族と、訪問可能な先生とのマッチングを行ってはどうかと、小児在宅診療医照会制度をはじめました。

### 小児在宅診療医照会の流れ



ご家族に希望がある場合、病院主治医から事務局へ依頼を受け、登録医の中から推薦し、病院主治医やご家族と訪問医が面談の上、決定します。これまでこの制度を使って5組のご家族が訪問診療を受けておられます。ご家族からは、「病院に行くべきか行かなくても良いのか悩むとき、ハラハラしながら様子を見ていた。そういう場合に相談できることや予防接種を自宅でももらえること、きょうだいや母の体調が悪くても、すぐ病院に行けず我慢して過ごすこともあるので、家族の診察をしてもらえることも、とても助かる。」というご意見がありました。

訪問診療を希望される方がおられましたら、まずは病院主治医へご相談いただければと思います。





# 地域包括支援センターは、こんな仕事をしています



地域包括支援センターは、高齢者が住み慣れた地域で安心して生活できるよう、高齢者の介護・保健・福祉・医療などをサポートする総合相談窓口です。社会福祉士、主任介護支援専門員、保健師などの専門職が配置されています。奈良市では市内を13の日常生活圏域に分け、各圏域に一か所ずつ設置されています。

それぞれの地域の特徴を把握し、地域包括ケアシステム(\*1)を構築するための中核拠点として活動します。

また基幹型地域包括支援センターが市役所内に設置されており、各地域包括支援センターの総合的な調整、後方支援の役割を担っています。

## ～地域包括支援センターの主な業務内容～



### 1. 総合相談支援事業

住民の各種相談を幅広く受け、介護・保健・福祉・医療などの関連施策に関する情報提供や相談支援を行います。



### 3. 権利擁護業務

高齢者虐待の防止および対応、消費者被害の防止および対応、判断能力を欠く常況にある人への成年後見制度の活用促進を含めた支援等を行います。



### 2. 介護予防・ケアマネジメント業務

介護予防および日常生活支援を目的として、その心身の状況等に応じて、対象者自らの選択に基づき訪問型サービス、通所型サービス、その他の生活支援サービス等が実施されるよう必要な援助を行います。



### 4. 包括的・継続的ケアマネジメント支援事業

高齢者が住み慣れた地域で暮らすことができるよう、個々の状況や変化に応じたケアマネジメントを介護支援専門員が実践することができるよう介護支援専門員へのサポートを行います。

(\*1)地域包括ケアシステム:要介護状態となっても住み慣れた地域で自分らしい暮らしを人生の最後まで続けることができるよう、住まい・医療・介護・予防・生活支援が一体的に提供される体制のこと

\*\*\*\*\*



## 包括紹介コーナー 登美ヶ丘地域包括支援センター

こんにちは！登美ヶ丘地域包括支援センターです。当包括は奈良市で一番北東部、生駒市との境にある登美ヶ丘・東登美ヶ丘小学校区を担当しています。約50年前から開発が始まった地域になり、現在も開発が続いている地域、マンション群もあります。高齢者人口約7000人。高齢化率が53%を超える地域から4%未満の地域まであり、平均でも33%近い高齢化率になっています。

そんな中で私たち登美ヶ丘包括は、高齢者がいつまでも自分らしく住み続けられるような地域を作っているように日々取り組んでいます。長引くコロナへの不安も大きく、自宅での閉じこもりや支援の中断をしていた高齢者も多くいらっしゃいます。それらによりフレイル状態になったり、認知症の発症や進行が見られる傾向にあります。現在、相談件数・介護申請件数なども増加しています。

包括として、地域のサロンや地区社協・公民館行事などへの積極的な支援のほか、元気アップなら講座やオレンジカフェの開催、医療と介護の連携研修会やケアマネジャーの資質向上のための自立支援検討会議や研修会、認知症の啓発活動など個別の相談業務だけでなく地域力の向上のための支援も行っています。今年度も奈良学園大学と共同で合同サロンを行ったり、奈良市薬剤師会と健康チェック・お薬相談など色々な団体と協力して地域での活動を行いたいと考えています。

## 奈良市登美ヶ丘地域包括



登美ヶ丘公民館  
中登美保育園  
中登美団地ショッピングセンター  
至学園前

皆様も  
「こんなこと協力できます!」  
「見に行きたい」等あれば  
各包括独自でいろいろな  
活動をしていますので  
是非声をかけてくださいね!